

発行 青森県金木町役場 編集 企画室

**タバコは町内で**  
 ふだんなにげなくのんでいるタバコにはタバコ消費税という税金がかかっており、ハイライト一個をかうと十一円六十銭が小売店の所在する市町村の収入となります。昭和四十二年度においては昭和四十一年度よりタバコ消費税として金木町に入っています。みなさんが、出張や旅行などで町外にでられる時は、つとめて、町内からタバコを買おうようにして下さいようお願いします。

川倉・嘉瀬地区

構造改善動き出す

区画整理と農道に着手

金木町の農業構造改善事業は、川倉地区で区画整理事業が、嘉瀬地区でりんご園農道整備事業が始まり、本格的に動き出しました。川倉地区の構造改善事業は、九十二・二二ヘクタールの区画整理(確定測量、換地計画等を含む)が中心で、この区画整理の総事業費は六千二百四十七万円で、川倉土地改良区(白川章一理事長、組合員百二十六名)が事業主体となつて進めるものです。今年度の事業量は約半分の四十

二・九ヘクタールで、すでに工事が始まっています。区画整理で最も心配されているのは工事の遅れと、それに伴う種え付けの遅れであることから、川倉土地改良区では、四十二・九ヘクタールを四つの工区に分割し、四人の業者に工事を担当させて、工事の早期完成をはかり、農家に迷惑をかけない方針をとつていま事業費のうち、国・県で七十%を負担し、残りの三十%が受益者

の負担となつていきます。この受益者が負担する額の八十%までは、二年利五・五%、五年すえ置き、二十年償還の農林漁業金融公庫資金が借入れできることになつていきます。区画整理による十アール(約一反)当たりの年平均の負担額は千三、四百円、総額で三万四、五千円程度と見込まれています。なお、昭和四十四年度以降には残りの四九・三二ヘクタールの区画整理事業をはじめ、トラクタ1、刈取機購入事業等が行なわれます。一方嘉瀬地区ではりんご園農道整備事業が、事業費四百八十二万三千元、共同施行(木下俊蔵代表関係者三十九名)で行なわれています。この事業は巾四メートル、延長一千二百メートルの一般農道を整備するもので、来年三月いっぱいまで完成の予定です。



【始まった区画整理事業】

農耕用軽油の免税申請について

- 一、申請受付期日 昭和四十四年二月十九日、二十日
- 一、申請受付場所 五所川原県税事務所(五所川原市民会館と  
 なり)
- 一、申請に必要なもの ①免税軽油使用者証(新たに申請するものは除く) ②耕作証明書 ③認印 ④販売店等の発行する機械の売渡し、譲渡証明書(新規申請、あるいは機械に異動のあった場合) ⑤役場で発行する所有証明書(四十四年中に使用者証が無効になるもの) ⑥前年に購入した軽油の納品書 ⑦青森県収入証紙百円(新規申請、または四十四年中に使用者証が無効になる場合) ⑧揚排水に使用した者は前年の実績書、及び計画書

(五所川原県税事務所)

新しい民生委員が  
 り決まりました。カッコ内は担当区域です。

金 木

- 前田富美衛(神原) ○秋元直衛(時田) ○白川清一(沢部) ○池田茂昭(新富町・三軒町) ○池田喜貞(小川町・米町) ○芳賀ミツ(寺町・浦町) ○芦野町
- 山崎昭二(南新町・田町) ○山田りゑ(本町・栄町・川端町) ○石戸谷定一(北新町・朝日町・神明町) ○対馬兼正(昭和町・下山道町) ○田中国雄(上・中山道町) ○津島ヨチエ(見崎町・若松町) ○原田敏雄(藤枝)
- 中谷勝三(湯の川・向道・林下・開拓) ○白川長吉(女坂・下川倉) ○吉田義治(大東ヶ丘)

嘉 瀬

- 原田勘衛門(中柏木) ○木下留蔵(新町・新堤町) ○伊藤定四郎(上・下小栗崎)
- 鎌田孫石工門(上・中派立・東町) ○工藤賢治(下派立・昭和町)
- 山中清市(車町・冷水・本町) ○斎藤義經(畑中・後町) ○沢田繁市(上・下鍛冶町・新誠町) ○木下末三(上・下古町)

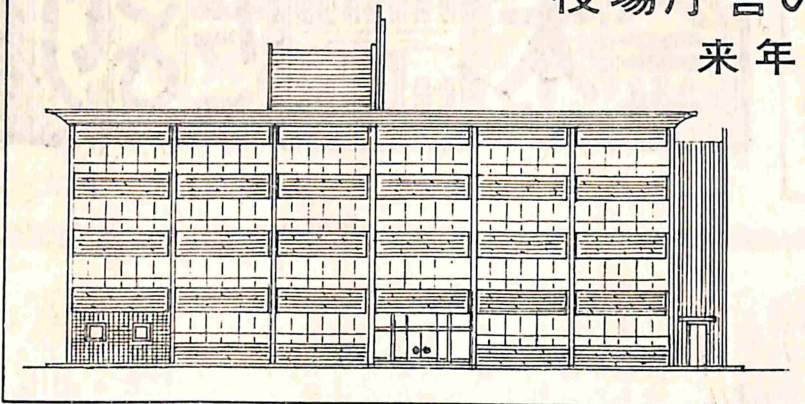
喜 良 市

- 成田泰三(更生部落) ○古川忠蔵(東・西岩見町) ○岡田幸子(野崎・林町) ○太田治(北・南本町) ○三上政雄(上・下派立・双葉町) ○今タミ(上・下柏木町) ○今方五四郎(下町・川端町)

新しい民生委員きまる

庁舎の完成予想図

# 役場庁舎の新築本決まり 来年12月には完成



懸案の役場庁舎の新築が本決まりとなり、昭和四十四年の三月頃から工事にとりかかり、十二月には完成の見通しです。現在の庁舎の大半は大正十二年に建てられた古い建物で、狭い間に間取りも悪く、窓口事務をはじめ、事務改善が、行政サービスの面で、おくれをとっているため新築することになったものです。場所は現在の庁舎のすぐ南隣りで、新築のための総予算額(土地購入費、備品費等を含む)は一億四千二百万あまりで、建築費は昭和四十三年度から三カ年の分割払いとなつていきます。新築される庁舎は、鉄筋四階建て、建築面積七四八・三平方メートル(二二三坪)、延べ二、八五三平方メートル(八六三坪)の建物で、現在の構想では、一階は町民課、税務課などの窓口事務部門、二階は町長室、総務課などの管理部門、三階は県などの出先機関、四階は議会関係が使用することになっています。

△ 庁舎の工事は大木建設、電気工事は五十嵐電気商会、給水工事は木村鉄工場がそれぞれ落札し、工事は雪どけをまって始めて十二月には完成の予定です。

## 金木町社教推進大会

三百人が熱心に話し合い

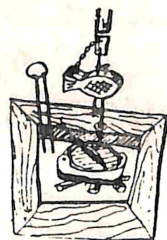
金木町教育委員会では、十二月十三日、金木高等学校を会場として「青少年の健全育成をめざして」青少年の健全育成をめぐって「みんなで考え実践しよう」というテーマで金木町社教推進大会を開きました。大会には金木町の婦人会、青年団、PTAの会員など三百人が出席しました。大会は、午前中に①青年団活動を活発にするにはどうしたらよいか②青少年の健全育成をめざして婦人団体は何をしたらよいか③閉るい家庭で健全な子どもを育てよう。家庭教育学級の効果的運営については④地域の子ども会を育成するにはどうしたらよいか。金木町子ども会育成連合会をつくらう⑤地域の子どものための幸せのためにPTAは何をしたらよいか。PT



〔社教推進大会〕

A本来の姿をふり返つてみようの

五つの分科会に分かれて会議を開きました。午後は、各分科会の司会者からの報告をもとに、全体会議を開き時代の進展に即応できるように大人も絶えず勉強する必要がある。社会教育の振興には公民館などの施設がぜひ必要であり、また、社教団体の運営には専任の指導者やある程度の助成金もほしい、現状では、保育所、児童館、学校などの既設の公共施設をできるだけ活用して社会教育を推進しよう、などという問題について熱心な討論を行ないました。また、全体会議においては「金木町子ども会育成連合会」をつくることを決めました。



### 金木町の10大ニュース 1968

- ① 役場庁舎の新築決定  
総予算1億4千万円あまりで新築することに決定。完成は来年の12月の予定。
- ② 小田川農業水利事業の着工  
8月、ダム建設予定地までの付け替え林道工事に着手。10月19日、石井東北農政局長、竹内県知事ら関係者550人が出席して起工式を挙げる。
- ③ 町議会議員の選挙  
2月2日行なわれ、新人8人が進出、町議会に新風を吹き込む。
- ④ 区画整理事業の着工  
農業構造改善事業の一環として計画された川倉土地改良区の区画整理事業は難航のすえ、12月6日ようやく着工。当町初めての事業であり、その成果が期待されている。
- ⑤ 豪雨による水稻の被害  
8月10日～12日まで196mm降り、浮州、駒留地区を中心に水稲500ヘクタールが水をかぶり、1億5,000万円の被害を受ける。
- ⑥ 金木バイパスの完成  
金木自動車学校前から若松町赤坂へ抜けるバイパスが完成、交通の緩和に大きく貢献
- ⑦ 喜良市診療所新築落成  
11月8日完成、11月20日、台湾出身の荘加善医師が着任、診療を開始。
- ⑧ 尾野病院の新築落成  
鉄筋コンクリート3階建て1,556平方メートルの近代的な病院で、11月23日落成式を行なう。
- ⑨ 震災による農業施設の被害  
5月16日に発生した十勝沖地震により、大口堰や清久溜池など数十カ所に及ぶ農業施設に被害がでる。
- ⑩ 山道町「子どもの広場」完成  
朝日町の角田由吉さんの善意と山道町内会の努力により5千平方メートルのりっぱな広場が完成。

# 第四十九回定例町議会

## 庁舎の工事契約などを承認

### 一般質問には八氏

金木町の第四十九回定例町議会  
は十二月二十一日招集され、役場  
庁舎の工事契約の承認など十一の  
議案を原案どおり可決して二十四  
日閉会しました。

こんどの議会に提出された主な  
議案は①一般会計の補正予算②国  
保特別会計の補正予算③職員④給  
与条例の改正⑤県交通災害共済組  
合加入の件⑥寄付採納の件⑦固定  
資産評価審査委員会委員選任同意  
の件⑧役場庁舎工事契約の件など



〔定例町議会〕

①から③までは、主として  
人事院勧告による職員の給与ペー  
スの引き上げに伴う案件で、④は  
金木町が来年の四月から実施する  
予定の交通災害共済制度に関する  
もので、そのあらまは別項のと  
おりです。⑤は第一保育所母の会  
（蝦名弘子会長）からすべり台購  
入費として四万五千円、川倉の白  
川鉄男氏から川倉小学校屋外運動  
場（スキー場）用地として十ア  
ル寄付されたことに伴うもので、  
また、議員から出された食管制  
度堅持に関する意見書を国に提出  
する案件は万場一  
致で決まりました。

## 交通災害共済のあらまし

### 掛金年額三百六十円で 最高五十万円の補償

第四十九回定例町議会において  
加入が承認された交通災害共済制  
度のあらまはつぎのとおりです

- ①組織 県内の八市と三十五の町  
村で組織（昭和四十三年十二  
月現在）
- ②掛金 一人年額三百六十円  
カ年間
- ③共済の期間 加入した時から一  
年
- ④共済金支払の範囲 自動車、モ  
ーターバイク、自転車、荷車な  
どに乗っていて衝突したり、転  
落、転覆したりした事故、ある  
いはこれらの車両にはねられた  
り、ひかれたりした事故。ただし  
電車、汽車、航空機、船舶など  
による事故は含まれません。
- ⑤共済金の額
- ⑥死亡した時 五十万円  
⑦けがをして治療を受けた時は  
治療期間六カ月以上十万円か  
ら、治療期間一週間未満二千  
円まで。

なお、金木町では、昭和四十四  
年四月から加入の申込みを受け  
る予定で、これから各部落におい  
て説明会を開くことにしていま  
す。

- ⑧職員配置、初任給、昇給、昇格を適正に行なっているか。
- ⑨食官制度を守る町民大会を開くつもりはないか。
- ⑩出稼ぎにより消防力が弱体化されていけないか。
- ⑪学校プール建設の見直しについて。
- ⑫雨中の敷地のクイ打ち事件をどう解決するか。
- ⑬社会教育関係の予算が少な過ぎるようだが、これに対し、理事者側から次ぎのような答弁がありました。
- ⑭名案がないが、関係方面とも協議してなんとか対策を講じたい。
- ⑮事実内容をよく調査して善処したい。
- ⑯適政でない面については今後は是正して行く。
- ⑰県あるいは国の段階で開かれているので町独自の大会会議を開かなくてもよいと思う。
- ⑱出稼ぎは確かに増えているが、今のところ消防団活動にそれほど影響はない。
- ⑲二十五メートルの六コースで計画していたが、八コースの陳情を受けているので検討中である。数年来の懸案であり、四十四年度中にはぜひ実現したい。
- ⑳くい打ち込みで問題になってくる敷地六百六十平方メートルについては代金を支払っているがまだ登記はしていない。売買契約のこじれで問題になっているのだが、年度内にはぜひ解決したい。
- ㉑財源難で思うように行かないが出来る限り予算を計上して行きたい。

### 「十四日会」が 保育所などに プレゼント

金木町で商業を営む有志で組織している「十四日会」（田中豊蔵会長）では、十二月二十日、金木町の四つの保育所と二つの児童館を訪問して、子どもたちにクリスマスへの贈り物をして喜ばれました。

### 「名月会」では 歳末助け合い に四千円

金木町の「名月会」（大橋みん会長）は歳末助け合い運動の一助に四千円を寄付しました。

### 職業安定協力委 員に桑田一生氏

求職の申込みを手助けしたり、就職の相談にのったりする職業安定協力委員に喜良市の桑田一生氏（農業委員）が労働省より任命になりましたのでご活用下さい。

# 蒔田農研会

## 県の米作共進会で銅賞

### 十アール 六六〇キロの成績

県下の米作り名人を集めて技を争っている青森県米作共進会は、今年も開催され、先頃表彰式が行なわれましたが、今年は今までの個人部門の他に、新たに集団部門が設けられ、米作集団の育成と集団による栽培技術を計画的に実践し、生産性を高めることを目標としているが、この集団部門に出品した当町蒔田農事研究会(吉田登志一会長)は、県下の強敵を相手に日頃鍛えた米作りの技術を充分発揮し、平均十アール当り六百六十キロを上げ、見事銅賞を獲得しました。

この集団部門は、県内各都市のブロック予選を通過した十二の集団について、刈取審査を行なったもので、集団三ヘクタールのほ場一枚一枚から、四十五平方メートルを部分刈りし、水分十四%換算による玄米収量で順位を決めたものですが、今年は春先からの不順天候、六月の日照不足と低温、八月の二回にわたる水害、出穂後の低温による登熟歩合の低下、刈り取り後の雨天続きによる乾燥の不慮など、数々の悪条件、さらには津軽地帯という不利な立地条件下での入賞した意義は高く評価され

ています。この喜びを知った蒔田農事研究会では、去る十二月七日、さっそく町役場、地区農改善及所などの関係機関を招いて、受賞祝賀会を開催しました。席上、今年の稲作栽培と作柄の反省に話しは熱中しこれからは、多収技術の向上と共に品質の良い米を多く生産しようとの会員一同、新年度への力強い意気込みを示し大いに盛況でした。今後、ますます活躍が期待される蒔田農事研究会の表情でした。なお、受賞の喜びに湧く蒔田農事研究会の会員は次の二十六名です。

### 青年研修所が移転

役場庁舎の新築に伴い、青年研修所が、芦野公園内旧明治校跡に移転改築されました。この移転改築には金木共同職業訓練所(太田昌二所長)が全面的に協力しました。今までのとおり、青年研修所として使用されますが、金木町職業訓練所としても使用されます。

### 一月十五日に成人式

金木町の昭和四十四年の成人式は町と教育委員会の共催で一月十五日午前十時から青年研修所で行なわれます。昭和二十三年一月十六日から昭和二十四年一月十五日までに生まれた人たちが該当者となっており、

### 戸籍の窓口

出生と死亡 十一月届出分

- 生まれた人
  - ☆竹内慎子 (貞利3女) 藤枝
  - ☆船場聖樹 (塚則2男) 南新町
  - ☆泉谷正樹 (武美長男) 川倉
  - ☆川島千都美 (昇一郎2女) 浦町
  - ☆徳田真理子 (雄治長女) 蒔田
  - ☆中谷仁美 (清長女) 神明町
  - ☆岡田英樹 (芳嗣長男) 北本町
  - ☆伊藤明徳 (勇長男) 西岩見町
  - ☆三国谷清人 (由次2男) 東岩見町
  - ☆蛸島里美 (義忠長女) 上野町
  - ☆伊藤真由美 (満明長女) 下小栗崎
  - ☆土岐栄喜 (俊一長男) 後町
  - ☆土岐千賀子 (英造2女) 上鍛冶町
  - ☆平川昌代 (光平2女) 下古町
  - ☆沢田歩美 (文則長女) 冷水
  - ☆秋村桐江 (繁光長女) 上新町
- 死んだ人
  - ★中谷まよ (七六) 川倉
  - ★白川子之吉 (七九) 川倉
  - ★高橋昌久 (五二) 本町
  - ★小山内キミ (四八) 東町
  - ★山中たか (八十一) 新堤町
  - ★山中岩雄 (五十) 上古町
  - ★桑田てうよ (七九) 上派立

## 職業訓練大学校 職業別再訓練通信講座

### 受講案内

- 募集職種**  
 機械工・木型工・とび工・建具工・仕上げ工  
 板金工・ブロック建築工・家具工・機械製図工  
 金・金属塗装工・タイル張り工・オフセット印刷工・機械検査工・建築大工・建築塗装工  
 凸版印刷工・鋳鉄鋳物工・左官・配管工・洋服工
- 受講資格** 受講しようとする職種に従事しているかたは、年齢、学歴を問わず、だれでも受講できます。
- 訓練期間** 1カ年
- 申込期日** いつでも受付けます。
- 申込手続き**  
 ◇ 受付場所 職業訓練大学校(東京都小平市小川西町2260)  
 ◇ 提出書類 受講申込書及び受講者証(規定用紙)写真1葉  
 ◇ 受講料 4,000円 申込時に送金のごとく
- 特典** 修了者には受講した職種の二級技能検定学科試験免除の資格が与えられます

「受講案内」及び「受講申込書」等は、下記に郵便切手20円を添えてお申込みください。

東京都小平市小川西町2260  
 雇用促進 職業訓練大学校  
 事業団 電話 小平(0423)41-3331(代表)

青森市中央3丁目20番2号  
 雇用促進 青森総合職業訓練所  
 事業団 電話(4)5154番(代表)



【移転改築された青年研修所】

### おわび

金木だよりの前号(第九九号)の「喜良市診療所」の写真と老人の「いこの家」の写真とが係の手違いにより入れ違いになっていました。おわびして訂正します。